

データヘルス・予防サービス見本市 2016 in 東北

2016年11月21日（月） 10:00-17:00

於：仙台国際センター 展示棟

開催速報

2016年11月21日（月）、データヘルス・予防サービス見本市 2016 in 東北が開催されました。当日は爽やかな秋晴れの中、医療保健者をはじめとする約400名の予防・健康づくりのプロの方にお越しいただき、会場はおおいに賑わいました。

セミナーゾーンでは、午前は宮城県との共催による「予防・健康づくり協働推進宣言/スマートみやぎ健民会議特別セッション」を開催しました。

セミナー序盤には東北大学大学院の辻教授より、日本におけるヘルスケアでの産官学連携の重要性とその効果についての記念講演を頂きました。続いて宮城県村井知事にお越し頂き「予防・健康づくり協働推進宣言」を頂いた後、データヘルス・予防サービス見本市 2016 のアンバサダーでもあるスポーツコメンテーターでシドニーオリンピック競泳銅メダリストの田中雅美さんをお招きし、村井知事とのトークセッションを行って頂きました。トークセッションでは田中さんの経験談に基づく健康管理の必要性や、知事からの産官学連携の県としての位置づけ等についてお話頂き、熱心に聞き入る聴講者の方が多くいらっしゃいました。

トークセッション終了後には「データヘルス・予防サービス見本市 2016 in 東北」の開催および「予防・健康づくり協働推進宣言」を記念し、健康保険組合連合会宮城連合会大橋会長、協会けんぽ宮城支部高橋支部長も壇上にお招きしたフォトセッションや市町村や企業による取組紹介など活発に行われ、会場の熱気は大きく高まりました。



午後からは宮城県公衆衛生協会主催にて平成28年度 一般財団法人宮城県公衆衛生協会研修会 シンポジウム「健康づくりの新たな展開～データヘルスから健康経営まで～」を開催しました。

午前引き続き東北大学大学院辻教授より基調講演を頂いた後、東北各県より産官学を代表したご登壇者をお招きし事例のご紹介を頂きました。後半からは辻教授と事例のご紹介を頂いた登壇者の方々をパネリストとしてお招きしたパネルディスカッションが行われ、宮城県に留まらず東北全体でのヘルスケアの機運の高まりを感じさせるディスカッションとなりました。



仙台会場は展示会場の出展ブースも拡がり、各事業者のソリューション体験の場もより活気付いたほか、独自のミニセミナーを開催される事業者もいらっしゃいました。

来場者の方々は、セミナーゾーンでのセミナーや、出展ブースでのミニセミナーを通して最新のヘルスケア関連の知識をインプットした上で、事業者の方々とのコミュニケーションや製品・サービスの体験により最新のソリューションを体感する事が出来、より密度の濃い一日を過ごされている様子でした。

データヘルス・予防サービス見本市 2016 は九州、東北を経て
2016年12月14日（水）にメイン会場である大阪会場が開催されます。
予防・健康づくりの担い手の皆様の御来場をお待ちしております！